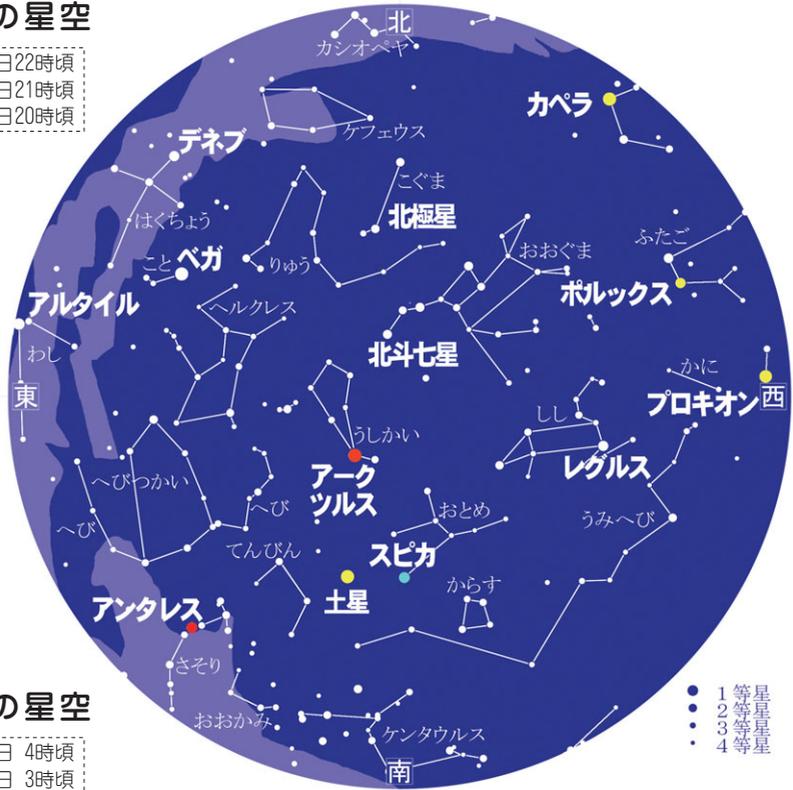




★星空ガイド 5月16日～6月15日

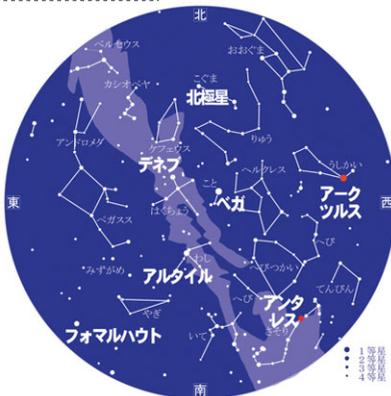
よいの星空

5月16日22時頃
6月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

5月16日 4時頃
6月1日 3時頃
15日 2時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
5	16	木	4:54	18:54	9:50	23:31	6.1
	21	火	4:51	18:58	14:40	1:45	11.1
	26	日	4:48	19:01	20:14	5:35	16.1
6	1	土	4:46	19:05	0:06	12:10	22.1
	6	木	4:44	19:08	2:59	16:58	27.1
	11	火	4:44	19:11	6:50	20:55	2.5
	15	土	4:44	19:12	10:30	23:12	6.5

※惑星は2013年6月1日の位置です。

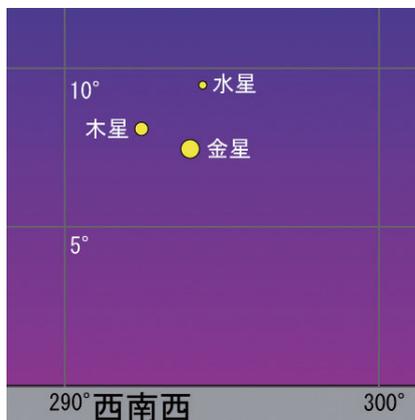
<水星を見よう>

水星は、太陽系の惑星の中で一番太陽に近い所を回っています。そのため、いつも太陽の方向にあって、実際に見るのはなかなか難しい惑星です。

ところが今この水星が、夕方、西の空で見やすくなっています。水星は比較的明るく、-0.9等級ほどの明るさで輝いています。とは言っても日の入り後30分ほどでの高さは10度程度と、かなり地平線に近い場所です。さらに空全体もまだ薄明るい状態なので、なかなか見つけることはできません。しかし、今はそばに明るい金星があるので、これを目印にして探すことができますのです。金星は-3.9等もの明るさで輝いているので、すぐに見つけることができるでしょう。特に5月25日には、金星と水星が角度にしてわずか1度近くまで接近します。双眼鏡でも、二つの星を同時に見ることができるでしょう。また5月27日にはさらに木星も接近し、西の空に水星・金星・木星の3つの惑星が集まっているのが見えます。

その後もさらに、夕方の空で水星の高度は上がっていきます。6月13日は、東方最大離角となります。これは、水星が太陽から最も東側に離れる日のことで、日の入り後30分での水星の高さは13度ほどになります。

水星・金星・木星の位置関係は毎日少しずつ変わりますので、自分が観察する日の並びをあらかじめ調べておきましょう。毎日の惑星の位置は、国立天文台の暦計算室のホームページなどで調べることができます。



5月27日 19時半ごろの大阪での様子

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
5	18	土	●上弦(14時)
	21	火	小満
	22	水	月とおとめ座のスピカが接近
	23	木	月と土星がならぶ
	25	土	○満月(13時) 南米などで半影月食(日本では見られない) 水星と金星が接近
	26	日	月が最近(358377km)
	27	月	金星と水星・木星が接近
	29	水	金星と木星が接近

月	日	曜	主な天文現象など
6	1	土	●下弦(4時)
	5	水	芒種
	8	土	月と火星がならぶ
	9	日	●新月(1時)
	10	月	月が最遠(406486km) 月と金星がならぶ
	11	火	入梅
	13	木	水星が東方最大離角

江越 航(科学館学芸員)